



2026年2月26日

各 位

会社名 HEROZ 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 林 隆弘  
(コード番号：4382 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 CFO 森 博也  
(TEL 03-6435-2495)

## JPYC 株式会社との業務提携及び B1 種優先株式の引受けに関するお知らせ

当社は、2026年2月17日開催の取締役会において、JPYC 株式会社（以下「JPYC」又は「割当予定先」といいます。）との間で業務提携を行うこと、及びJPYCが実施する第三者割当増資（以下「本第三者割当」といいます。）を引受け、JPYCが発行する B1 種優先株式を取得することについて条件付きで決議いたしました。その後、本日付で業務提携契約の締結及び増資の引受けを最終決定し、契約締結を行いましたので、お知らせいたします。

### I. 業務提携の概要

当社はJPYCとの間で、JPYCにおけるAIX（AIトランスフォーメーション：AIの社会実装・業務への活用推進を意味します。以下同じ。）に関する検討及びAIシステム開発・導入支援に向けた協議を行うことに合意するとともに、同社が発行する B1 種優先株式を引受けることにより資本関係を構築すること（以下「本業務提携」といいます。）を決定いたしました。

#### 1. 本業務提携の目的及び理由

近年、生成AIをはじめとする人工知能技術の進展は目覚ましく、企業の競争力強化や生産性向上においてAIの活用は不可欠な要素となっています。当社は、AIを中心としたソリューション提供に関する知見・実績を有しており、顧客企業の業務プロセス変革やAIの社会実装・AIXを支援してまいりました。

本業務提携により、当社はJPYCに対し、AIXに関する検討及びAIシステムの開発・導入支援に向けた協議を進め、JPYCの業務高度化及び新たなサービス展開に向けた基盤強化を図ります。また、資本関係を構築することで両社の連携をより強固なものとし、中長期的

な企業価値向上に資することを目指してまいります。

## 2.業務提携の内容

本業務提携に基づき、当社及びJPYCは、JPYCにおけるAIXの検討を進めるとともに、AIシステムの開発及び導入支援に向けた協議を開始いたします。具体的な内容については、両社にて別途協議の上、順次検討してまいります。なお、業務提携契約上、本業務提携は、本第三者割当の払込完了により当社がJPYCの株主となることを条件として効力を生じません。

## 3.本提携の相手先の概要

(1) 名称	JPYC 株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1 号 大手町ビル 4 階 FINOLAB 内
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 岡部 典孝
(4) 事業内容	資金移動業に係る電子決済手段発行と関連事業
(5) 資本金	1 億円
(6) 設立年月日	2019 年 11 月 20 日
(7) 発行済株式数	2,910,938 株
(8) 決算期	7 月
(9) 従業員数	26 名
(10) 主要取引先	シンプレクス株式会社
(11) 主要取引銀行	GMO あおぞらネット銀行
(12) 大株主及び持株比率	合同会社フィズコード 52.09% Infinity Ventures IV, L.P. 11.02%
(13) 当事会社間の関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	当社は JPYC より業務委託を受けており、取引関係があります。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態（△は負の値を示す。）

決算期	2023年7月期	2024年7月期	2025年7月期
純資産	157百万円	379百万円	460百万円
総資産	485百万円	694百万円	691百万円
1株当たり純資産	55円	133円	161円
売上高	1百万円	8百万円	3百万円
営業利益	△268百万円	△243百万円	△612百万円
経常利益	△257百万円	△237百万円	△612百万円
当期純利益	△257百万円	△238百万円	△615百万円
1株当たり当期純利益(円)	△90円	△83円	△216円
1株当たり配当金(円)	0円	0円	0円

#### 4. 本提携の日程

当社取締役会決議日 2026年2月17日（条件付き決議）

契約締結日 2026年2月26日

開始日 本第三者割当の払込日（効力発生日）

#### 5. 今後の見通し

本業務提携による当社の連結業績に与える影響は軽微ですが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## II. 本第三者割当増資の引受けの概要

### 1. 引受けの目的及び理由

本第三者割当増資の引受けは、JPYCにおけるAI実装・検証・事業化を同時に推進することを目的とした戦略的投資として、前記「I. 1. 本業務提携の目的及び理由」に記載のとおり、両社の連携をより強固なものとし、中長期的な視点でのシナジー創出を図ることを目的としております。

### 2. 引受けの概要

以下の内容は、相手先企業による第三者割当増資の募集要項に基づいております。

(1) 払込期日 2026年2月27日

(2) 引受方法 第三者割当の方法により、当社がB1種優先株式を引受けます。

(3) 払込金額 払込金額は非開示とさせていただきますが、当社の2025年4月末時点にお

ける連結純資産額の1%未満であります。後述「3. 引受価額の算定根拠及びその具体的内容」でも記載のとおり、両社間で協議の上、妥当と判断した金額にて決定しております。

(4) 取得株数及び比率 取得予定のB1種優先株式数は、JPYCの発行済株式総数の10%未満となる見込みです。

(5) 株式の内容 当該B1種優先株式は、議決権を有し、残余財産分配等において普通株式に優先する権利を有する種類株式です。

(6) その他 本第三者割当は、JPYCにおける必要な機関決定(株主総会決議を含みます。)等を条件としております。

### 3. 引受価額の算定根拠及びその具体的内容

本引受けにおける引受価額については、JPYCが非上場会社であり過去に増資を実施してきたことから、過去の増資における引受価額や、今回のB1種優先株式が他社と同等の出資条件であること、当社においてJPYCの今後の事業計画に基づく企業価値の算出を実施し、両社間で協議の上、妥当と判断した価額にて決定しております。

### 4. 相手先の選定理由等

当社がJPYCを相手先として選定した理由は、JPYCが資金移動業に係る電子決済手段の発行等を通じて事業基盤を有していることに加え、当社が有するAI開発・導入支援の知見を活用することで、JPYCの業務高度化及び新たなサービス展開に向けたシナジーが期待できると判断したためです。

### 5. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響については軽微であると見込んでおりますが、中長期的な企業価値向上に寄与するものと考えております。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上